

# 目指せ！ 未来の海ごみスペシャリスト

沖縄キッズドクター育成プロジェクト2020

## 開催概要

### 目指せ！未来の海ごみスペシャリスト オンライン講座

<b>目的</b>	全4回のオンライン講座を通して、海洋ごみの現状や課題、未来へ向けたアプローチなど私たちができることを親子で一緒に考える
<b>日程</b>	第1回：11月 7日（土）・第2回：12月 5日（土） 第3回：12月 19日（土）・第4回：12月 20日（日）
<b>開催場所</b>	オンライン（Zoom）
<b>参加人数</b>	小学生13名・保護者
<b>主催</b>	ALLやんばるまなびのまちプロジェクト  沖縄県北部、離島を含めた県内での青少年の海洋、環境、科学技術の理解増進を通して、人材育成・教育コンテンツの共同開発・イベントの協働開催・情報発信など様々な学びの機会を提供している有志の組織。

事務局



一般財団法人沖縄県公衆衛生協会

※ このプロジェクトは、日本財団「海と日本PROJECT」の一環で実施しています。

# 沖縄キッズドクター育成プロジェクト 講座内容

## 第1回 11月 7日 (土) 海洋プラスチックごみ問題とは

講師：小寺 克己先生 GODAC (国際海洋環境情報センター)

初めてオンラインで参加する子ども達と自己紹介&アイスブレイク。講座では、プラスチックの種類や特徴について、演示実験をしながら、海洋プラスチックごみ問題とは何かをわかりやすく解説。また、どうして海洋プラスチックごみが世界中で問題なのか、ごみが漂う実際の海の映像や、ほぼ分解されずに深海に放置されている貴重な映像などを交えて解説し、世界の問題を身近に感じる内容でした。

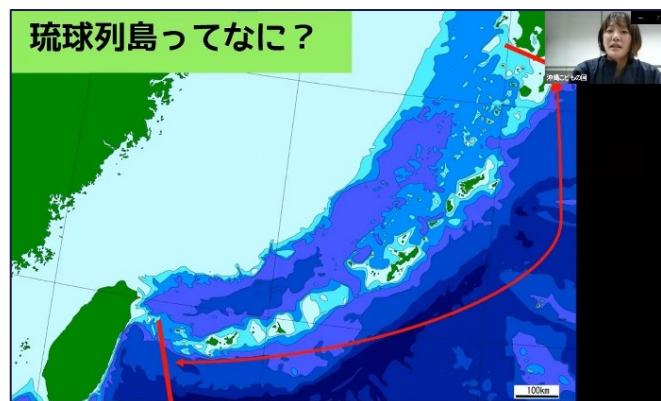


## 第2回 12月 5日 (土) 海洋プラスチックごみが生物に与える影響について

講師：前田 好美先生 沖縄美ら島財団 金良 由恵先生 沖縄こどもの国

ウミガメの飼育員をしている前田先生の講演では、海で暮らすウミガメとゴミについての解説。ウミガメは漂うビニール袋を餌のクラゲと間違えて飲み込むことや、漁具や網が身体に絡まるなど様々な死因について教えてくれました。

また、金良先生の講演では、琉球列島の生物の多様性についてや日本の野生動物に関わるゴミ問題、ツシヤマネコなど事例からプラスチックごみが野生生物に与える影響について考える内容でした。また世界のゴミ捨て場に生息する動物が受ける被害や生態系への影響について子どもたちとディスカッションしました。



### 第3回 12月19日 (土)

## 海洋プラスチックごみ問題に対する国・企業の取り組み状況

講師：原 慎一郎先生 環境省

環境省の原先生によるとプラスチックごみ問題と地球温暖化は密接に関係していて、プラスチックの原料は地球温暖化の原因となる二酸化炭素を出す石油由来です。自然界へ捨てられるプラゴミが与える影響以外にも、プラスチックを生産・焼却時に出る二酸化炭素が与える影響も問題となっています。それらに対する国や企業の取り組みの現状を紹介していただきました。

持続可能な社会の為、脱炭素に向けて今後、プラスチックと人はどのように付き合っていくのが良いのか考えさせられる内容でした。



### 第4回 12月20日 (日)

## まとめ

## 海洋プラスチックごみ問題を解決するために、ぼく・わたしにできること

これまでの講座を通して子どもたちが考えたこと、気づいたこと、体験したことなどから「海洋プラスチックごみ問題を解決するために、ぼく・わたしにできること」について「このまま続ける事(Keep)、課題・問題(Problem)、改善策・解決策・挑戦する事(Try)」を1人1人発表しました。

それぞれの思いをみんなに伝えることで、プラスチックごみ問題を改めて自分の中に落とし込み、ジブンゴトとして行動していけるようお願い、全4回の講座を修了しました。

Keep (このまま続ける事)	Try (改善策・解決策・挑戦する事)
<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し使えるものを使う (マイバッグ・マイボトル・お弁当箱・フードカバー：ラップの代わりにする)</li> <li>ごみをポイ捨てしないようにする (ごみ箱を探す・自宅に持ち帰る)</li> <li>海岸の漂着ごみを拾う (ビーチで遊んだら戻す)</li> <li>全世界で一丸となって地球環境問題に取り組む (みんなの問題として考える)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポイ捨てに罰金を科す (そういう国もある)</li> <li>ポイ捨てしないしつけや教育をする</li> <li>(マイクロプラスチック問題を伝える)</li> <li>漂流ごみを回収できる船を造る</li> <li>海水からマイクロプラスチックをろ過する</li> <li>システムを作る</li> <li>プラスチックの代用となる自然に還る素材を開発する</li> <li>プラスチックの製造そのものを減らしていく</li> <li>すべての車を二酸化炭素を排出しないものにする</li> </ul>
Problem (課題・問題)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ポイ捨てる人はいる</li> <li>マイクロプラスチック (すでに流出している) や</li> <li>漂着ごみがある</li> <li>プラスチックが便利で使いやすい</li> <li>陸上でも海洋でもプラごみが動物に影響を与えている</li> </ul>	



# キッズ宣言

有志の参加者がそれぞれの思いを宣言しました。



YouTube [https://youtu.be/hoLWiZGaN\\_0](https://youtu.be/hoLWiZGaN_0)

セーラ	・ For the future of the ocean together with my friends at elementary school, I want to do beach cleaning. (未来の海のために小学校のみんなでビーチクリーンをしたい)
ここみ	・ おやつのおきに出るプラスチックごみを減らすために自分でおかしを作るようにします
まさとも	・ 環境を守るために、私は常に意識して行動します。できるだけ近くでできた食べ物を 買ったり、環境に負荷のかからないものを使います
マナミ	・ このプロジェクトに参加して得られた知識を活かして、海を守る活動に励みたい
ロナウド	・ 海の生き物を守るために海に漂うごみを回収する機械を作りたい
わかな	・ Gather as many friends to clean the beach. Use the eco bag. Recycle Plastic products. (ビーチをきれいにするため多くの友達を集める。マイバッグを使う。 プラスチック製品をリサイクルする。)
Ryo	・ 未来の地球のためにリサイクルとゴミ拾いをします
ひろき	・ 地球の為にプラスチック製品をなるべく買わない

## 修了証

公益財団法人日本財団「海と日本プロジェクト2020」

沖縄キッズドクター育成プロジェクト

第1期生



あなたは、2020年度沖縄キッズドクター育成プロジェクトに  
おいて、本講座を修了したことを証します。

2021年3月31日

ALLやんばるまなびのまちプロジェクト

